



J R 連合・航空連合と連携した3産別共同行動

産業の回復と持続的発展にむけて連合と意見交換を実施



要望書手交の様子

(左から 航空連合 内藤会長、JR連合 荻山会長、連合 芳野会長、サービス連合 後藤会長)

11月24日(木)、サービス連合はJR連合、航空連合の3産別にて、連合との意見交換を実施しました。連合からは、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の委員である、村上陽子副事務局長が出席されました。

後藤会長は、「旅行業、宿泊業などの観光関連産業は、コロナ禍で需要が激減した際の借り入れもあり、大半の事業者は大変厳しい経営状況が続いている。」と産業の実態を訴えるとともに、産業における人財不足についても現状を伝えました。

村上副事務局長からは、政府の分科会の状況について説明を受け、観光の回復にむけた課題や産業の人財不足の課題などの解決にむけて意見交換をおこないました。

また、意見交換に続いて、連合の芳野友子会長と面会し、3産別の現状を伝えるとともに、産業の回復と持続的発展にむけて要望を伝えました。



意見交換をおこなう連合の村上副事務局長(中央)



意見交換をおこなう後藤会長(右)